


理工系学生のみなさまへ



総務省は
幅広いフィールドで活躍できる
「理工系の事務官」
を求めています。



総務省総合職事務系(理工系)採用担当

総務省では理工系の人材を 総合職事務系として採用しています

人口減少・超高齢社会が到来し、経済財政の運営が重大な局面を迎える中であって、我が国の情勢を定量的に映し出す統計行政は、従来にも増して重要な役割と責任を帯びています。さらに統計行政は、統計調査の企画や審査、国際的な協力や支援、官邸・国会そして国民に向けた情報提供などの通常の行政的な側面に加え、標本設計や結果精度の検証などの理論的な側面も要求される、難度が高い分野です。

このため、理工系の持つ論理的な思考力や柔軟な創造力にかかる期待は大きく、統計行政は総合職事務系（理工系）の多くが活躍する分野となっています。

政府統計の中核を担う ～総合職事務系（理工系）の活躍の中心～

- 我が国の社会・経済情勢を把握するための基礎となる統計の企画・作成・提供
- スマートフォンから回答できるオンライン調査の導入などによる効率的な実施



- 各府省の統計調査の横断的調整
- 統計法などに基づき、統計に関する基本的事項の企画・立案・推進

- 政府統計の総合窓口“e-Stat”による一元的な統計データの提供
- API機能の整備や統計GIS機能の充実など、高度な統計情報の提供



會田 雅人
統計局長

今後のプラン

統計局は、国勢調査、労働力調査、家計調査などの様々な統計調査を実施し、行政や国民のための基盤的な統計を作成し、様々な形態で広く提供していくのが基本的な仕事です。今後は、統計調査に限定せず、行政記録、ビッグデータなど様々なデータ源を活用し、政府統計を作成していくことが求められますし、オープンデータの高度化の観点から、API(Application Programming Interface)、LOD(Linked Open Data)など先進的な技術を使ってデータを提供することも求められます。技術面だけでなく、制度面でも新しいことを考える力が求められますが、いっしょに新しい分野を開拓しませんか。統計局には数理系の先輩も多く、非常にやりがいのある仕事だと思います。

先輩からのメッセージ

～様々なフィールドで活躍する総合職事務系（理工系）～

総務省は、行政管理、行政評価、地方行政、選挙、情報通信など、幅広い行政分野を所管しています。総合職事務系（理工系）は、統計行政にとどまらず、様々なフィールドで活躍ができます。実際に、統計という核を持ちつつ、いろいろな行政分野で活躍している職員がたくさんいます。

○変わらないこと、変わること



小泉 英希

統計局 労働力人口統計室
課長補佐（企画第一担当）

私は、我が国の完全失業率や就業者数がわかる「労働力調査」に携わっています。調査開始が1946年9月で、今年でなんと70歳。オイルショックの時も、就職氷河期でも、東日本大震災の後でさえも、変わらずに、継続的に調査を実施し、結果を提供し続けています。

一方、国際労働機関（ILO）では失業率等に関する新たな基準が定められ、今後、労働力調査は、新基準への対応が必要となっています。

——— 変わらないことの重要性和、変わることへの挑戦。二つの重要なニーズが、ここにはある。

そして、チャレンジするやりがいも、統計局にある。

私はHPにも出ています。ぜひ見てね！

http://www.stat.go.jp/info/saiyo/sougou_top.htm

○平均では語れない業務改革



赤谷 俊彦

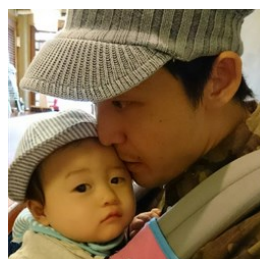
行政管理局
副管理官
（業務・システム改革総括）

現在、私は政府情報システムの改革（クラウド化による統廃合、コスト削減の取組等）と情報システムによる政府の業務改革という2つの改革を担当しています。

これらの改革を推進するためには、まずは今ある業務を深く知る必要があります。その際、システムの稼働率といった平均的な情報だけ見ていると、全体の分布という「本質」を見落としがちになります。

理工系の知見、統計家としての視座に立ち政府のあり方という課題に正面から立ち向かわんとするチャレンジングな皆様をお待ちしています。

○充実した明日のために



最上 桂

政策統括官
（統計基準担当）付
統計審査官付 主査

「統計審査」をご存じでしょうか？

言うなれば、違反取締まりのようなもので、重複排除や、より価値の高い統計となるよう指導するといったものです。

この業務の魅力は、数理センスを活かせるといった面はもちろん、日々の業務をある程度コントロールできる「働き方」にもあります。私自身、生まれたばかりの子どもとの時間を確保でき、日々充実の一言です。

統計は国家を「充実した明日」に導く「羅針盤」です。「充実」を希求する方をお待ちしております！

採用1年目の新人へアンケート！



統計局 統計調査部
経済統計課 企画第二係
吉田 和哉

総合職事務系（理工系）として入省した感想は？

学生時代は確率論を専攻し、マルコフ過程の研究をしていましたが、標本（人口や事業所データなど）を用いる統計という応用分野にて、そして行政というビッグな舞台で活躍したいと思い、国家公務員を志しました。

現在、私は総務省において、経済センサス - 活動調査という全国の事業所・企業を対象とした全数調査を実施する部署に所属し、調査の企画や地方公共団体との調整などの業務を行っています。まだ1年目ですが、地方に出張し、地方公共団体の方々の前で説明をする機会もあります。調査を成功させるために、調査の概要や地方公共団体の事務について筋道立てて説明し、理解を得ることは、私たち理工系の使命の一つではないかと思います。

総合職事務系（理工系）は、理工系という背景を武器に、行政で活躍できる魅力があります。ぜひ皆さんの新たな世界への挑戦をお待ちしています。



総務省統計局

総務省第二庁舎

〒162-8668 東京都新宿区若松町19番1号

電話 03-5273-2020(代表)

総務省統計局

<http://www.stat.go.jp/>

総務省総合職事務系(理工系)採用情報

http://www.stat.go.jp/info/saiyo/sougou_top.htm

総務省総合職事務系(理工系)採用担当窓口

saiyo-rikou@soumu.go.jp

総務省総合職事務系（理工系）LINE@

業務説明会や、公務員試験、官庁訪問などについて、皆さんの就職活動に役立つ情報を採用担当者からお届けします。説明会への参加登録や、試験の申し込みについてのリマインドも行いますので、是非ご活用ください。

※メールでも同じ情報を配信いたしますので、ご希望の方は saiyo-rikou@soumu.go.jp までご連絡ください。

登録方法

下記のID、もしくは右のQRコードからLINEの「友達追加」機能を用いて登録してください。

アカウント名：総務省統計局総務課 LINE@ID：@xah1581v

